

2026 年度前期 授業評価アンケート 概要

2026 年度前期授業評価アンケートの結果を整理し、主要な傾向や特徴を簡潔に把握できるように、概要としてまとめました。合わせて、参考までに昨年度同時期（2025 年度前期）のスコアも適宜掲載しております。

※掲載順序 0.00（今回）／0.00（2025 年度前期）

※今回、大学院の科目については、全て参考値となる。

（履修者数 10 名未満、回答者数 4 名以下、または複数担当者による科目のいずれかに該当するため）

1. 大学全体の傾向

▼実施期間・実施率・回答率

- ① 実施期間：2026 年 6 月 22 日（月）～7 月 10 日（金）
- ② 実施率：96.2%（対象 958 科目のうち 922 科目） P.3
- ③ 回答率：50.0%（履修者 24,616 名（延数）のうち 12,300 名が回答） P.3

▼平均点の算出方法

- ① 「そう思う」～「そう思わない」の各選択肢に対して、5, 4, 3, 2, 1 を得点付けして平均値を算出。
- ② Q1 は、「欠席なし」～「7 回以上欠席」の各選択肢に対して、0, 1.5, 3.5, 5.5, 7 を得点付けして平均値を算出し、選択肢の文言に近い欠席回数を算出。
- ③ Q3 は、「3 時間以上」～「まったくやっていない」の各選択肢に対して、3, 2, 1, 0.5, 0 を得点付けして平均点を算出し、選択肢の文言に近い平均学習時間を算出。

▼総合評価（Q13：授業の有益度・満足度）

- 平均：4.30／4.32 と全体的に高評価 PP.7-9

▼高評価項目

- ① Q12：学生の人格やプライバシーへの配慮（4.47／4.48） PP.7-9
- ② Q4：シラバスに沿った進行（4.45／4.47） PP.7-9
- ③ Q10：しっかりした授業運営（4.40／4.42） PP.7-9
- ④ Q5：教員の話し方が明瞭（4.39／4.39） PP.7-9

▼低評価項目

- ① Q3：授業外学習時間（平均 0.7 時間/週／0.7） PP.7-9
- ② Q8：内容の理解・修得（4.16／4.18） PP.7-9
- ③ Q9：ものの見方や考え方への知的刺激（4.22／4.25） PP.7-9

2. 学部別の傾向（総合的評価（Q13））

※ 各学部先頭は、総合的評価（Q13：授業の有益度・満足度）を

0.00（2026 年度前期）／0.00（2025 年度前期）として表記している。

また、各学部の説明内の数値は、学部全体平均との比較を示している。

▼文学部

- 4.36／4.36：教員の話し方の明瞭さ（4.43／全体 4.39）や授業運営（4.46／全体 4.40）のスコアが全体の平均値と比較して高い水準にある。また、学生の人格やプライバシーへの配慮（4.57／全体 4.47）のスコアが全体の平均値も高い。 PP.13-15

▼社会学部

- 4.27／4.29：学部全体の評価より低い（4.27／全体 4.30）。他の質問項目が全体の平均との差が 0.05 以上あるのに対し、内容の理解・習得（4.13／全体 4.16）やものの見方や考え方への知的刺激（4.19／全体 4.22）のスコアは、大学全体の平均値との差が少ない。 PP.16-18

▼教育学部

- 4.51／4.50：満足度の評価が高い。特に、授業内容の理解・習得（4.40／全体 4.13）、ものの見方や考え方への知的刺激（4.49／全体 4.22）のスコアが平均値よりも高い。 PP.19-21

▼国際学部

- 4.35／4.40：授業内容の理解・習得（4.29／全体 4.16）、ものの見方や考え方への知的刺激（4.30／全体 4.22）のスコアが平均値よりも高い。 PP.22-24

以上